

工法・新製品紹介

ALEX工法

(小型軽量硬質地盤掘削機)

NETIS登録番号：KT-060018-A

特許登録番号：第3158151号 第3428917号

ALEX：Auto chucking and Low leaders
Excavation method

従来、硬質地盤を対象とした基礎工事は大型杭打機等を用いて山留杭、既製杭などの施工を行ってきました。しかし、これらの機械では、市街地、住宅地、山間部といった建物密集地や搬入路、施工ヤードの狭い場所、屋内での施工は不可能でした。ALEX工法は施工能力を落とすことなく、これらの問題を解決する工法であります。

ALEX工法の主な特長をご紹介します。

1.コンパクトな機体

機体本体が全高9.95m（最小高さ7.95m）、全幅3.05m、全長7.24mとコンパクトなため、組立・解体・設置の時間が短縮でき、狭隘地等の施工も可能です。

2.強力なオーガモーターを採用

オーガモーターは油圧式を採用しており160KN・m（16t・m）の強力なトルクにより硬質地盤の削孔が可能です。

3.少排土削孔

スクリューには圧密板を装備し、土砂を孔壁に押し付けながら削孔を行うため、孔壁の崩壊を防ぐこと

ができる上、排土量も少なくできます。

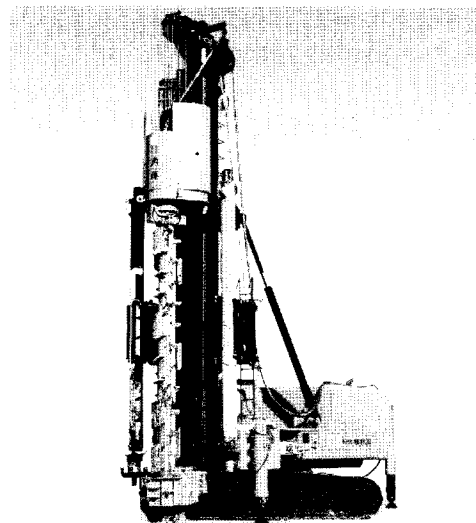
4.高い安全性

リーダー高さが低いだけでなく、スクリューロッドの接続も自動で行うため、高所作業がなく安全です。

5.高い施工精度

機械本体に掘削時間、鉛直度、掘削深度、オーガートルク、押込力、引抜力を検出する施工管理記録装置を搭載しています。

オペレーターはこれらの情報をディスプレイで確認しながら操作できるため、精度の高い施工ができます。



ALEX機全景